

【ご回答】北海道中小企業家同友会 質問状
北海道第2区 松木けんこう 中道改革連合

私自身、企業経営の現場に立ち、教育にも関わってきました。だからこそ、机上の理屈ではなく、現場が本当に回る制度と支援にこだわります。

【質問1】中小企業が持続的に賃上げできる取引環境・商慣行の確立について

賃上げは「お願い」では続きません。原資が出る取引環境をつくるのが政治の仕事です。買ったとき、不当な減額、一方的な仕様変更など、“弱い立場にしわ寄せが行く商慣行”を放置しません。実態が見える化し、取引適正化と監視を強め、正当に価格転嫁できるルールを徹底します。

さらに、寒冷地のエネルギー負担など、地域の固定費を下げる政策も組み合わせて、賃上げに踏み出せる体力を中小企業に取り戻します。

【質問2】人手不足が深刻化する中での、中小企業の人材確保・定着支援について

人手不足の一番の痛点は、「採れない」以上に、せっかく育てても定着しないことです。私は、社会保険料負担の軽減とさらなる「130万円の壁」の見直しで、働く人の手取りを増やし、働き控えを減らします。働く側にも、雇う側にもプラスになる制度に変えていきます。

同時に、物価高・円安で利益が削られている中小企業を守る支援を強化し、賃上げや職場改善に向けた“余力”をつくります。現場が踏ん張れる環境を、国が一緒に整えます。

【質問3】中小企業の倒産増加を踏まえた、今後の中小企業支援の基本方針について

倒産が増えている今、「自己責任」で片付けてはいけません。地域の雇用と暮らしが、一気に崩れます。私は、資金繰りの支援を“その場しのぎ”で終わらせず、伴走型で立て直しを支えます。

そして次に必要なのは、稼ぐ力の底上げです。DX・省力化、付加価値づくりへの投資を後押しします。さらに、AI・半導体の推進と人材育成を進め、**「北海道で学べば北海道で働ける」**環境をつくります。農林水産加工業の後押しも含め、地域で儲けが回る仕組みを強くします。

【質問4】事業承継・中小企業の存続を支える政策について

事業承継は、“会社の問題”ではなく地域の存続そのものです。引き継ぎたい人がいても、「人が集まらない」「固定費が重い」「制度が難しい」で諦める現場を何度も見てきました。

私は、社会保険料負担の軽減など、経営を圧迫しやすい部分を見直し、後継者が雇用を守り、挑戦できる条件を整えます。地域で長く続いてきた商売が、自然に次の世代につながるように、政治が背中を押します。

【質問5】中小企業を日本経済の柱と位置付けるための制度・理念について

中小企業は“下支え”ではありません。日本経済の屋台骨であるとともに、地域経済、社会を支える重要な役割を担っています。だからこそ制度は、机上ではなく現場の実態に合わせて、続けられる形に作り直すべきだと考えます。

その一つが、食料品の消費税0%です。家計と地域需要を下支えする効果は大きい。一方で、制度設計を誤れば、小規模農家や飲食店などで、仕入れに関する負担の偏りや事務負担が増える心配もあります。私はここを見落としません。簡易課税・免税事業者も含め、現場に不利益が出ない経過措置と実務支援をセットにして実施します。土台を整えます。中小企業が安心して雇い、育て、賃上げできる社会にしてい